

【ご参考】 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信 補足資料

1. 当期連結業績の概要

【業績】	
売上高 698億円（前年同期比 22億円増収）	
US\$9.84円の円安、THB 0.23円の円安、CNY 1.33円の円安 により、売上高11.3億円増加	
営業利益 54.4億円（前年同期比 5.5億円増益） 経常利益 72.2億円（前年同期比 2.6億円増益）	
親会社株主に帰属する中間純利益 60.5億円（前年同期比 2.5億円増益）	
【連結の範囲】	
連結会社 23社（1社増加） 持分法適用会社 3社（1社減少）	
【特別損益】	
特別利益 11.2億円：投資有価証券売却益 7.6億円、段階取得に係る差益 3.2億円等	
特別損失 4.5億円：汚染土壌処分費用 2.8億円、固定資産処分損 1.7億円等	
【中間配当金】	
中間配当 65円/株（前期中間120円/株※） 期末配当 65円/株 予定（前期末130円/株※）	
※前期の配当については、株式分割前を基準とした金額を記載しています。	

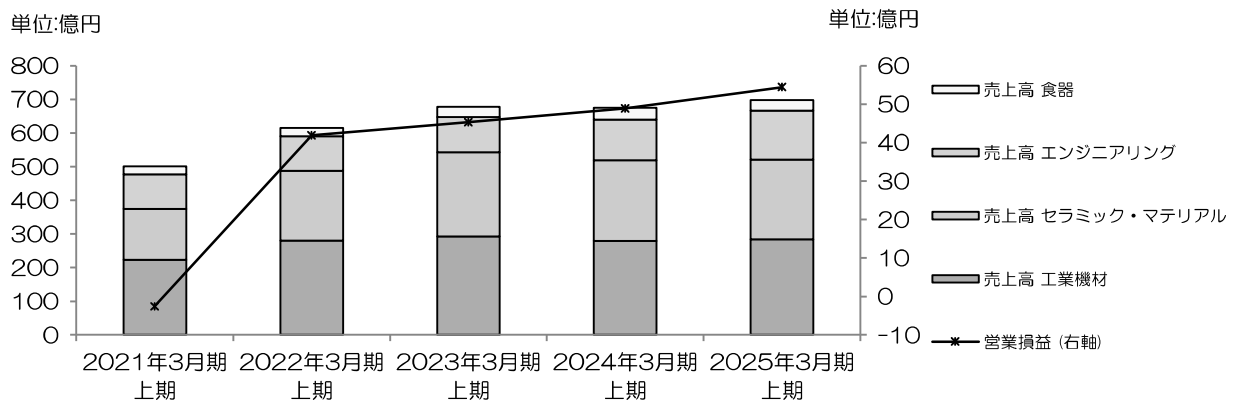
(1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

		2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	対前年同期比
		3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	
		上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	
売上高	工業機材	223	280	293	279	284	5
	セラミック・マテリアル	151	208	250	240	237	△4
	エンジニアリング	103	102	104	121	145	24
	食器	24	25	31	35	32	△3
		502	615	678	676	698	22
営業利益	工業機材	△15.9	12.5	14.8	9.6	9.6	△0.0
	セラミック・マテリアル	10.1	28.8	28.0	32.3	36.9	4.7
	エンジニアリング	9.7	7.8	5.6	7.5	10.0	2.5
	食器	△6.5	△7.2	△3.1	△0.4	△2.0	△1.6
		△2.6	41.9	45.3	48.9	54.4	5.5
(売上高営業利益率)		(△0.5%)	(6.8%)	(6.7%)	(7.2%)	(7.8%)	-
経常利益		6.6	56.9	65.8	69.6	72.2	2.6
親会社株主に帰属する 中間純利益		△0.2	42.1	51.8	57.9	60.5	2.5
1株当たり中間純利益※		△0.72円	145.70円	179.30円	200.27円	208.82円	-
1株当たり純資産※		3,541.59円	3,941.05円	4,326.28円	4,689.91円	5,146.69円	-
US\$ 為替レート		108.2円	108.5円	135.3円	142.6円	152.5円	-

※ 2021年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しています。

売上高及び営業損益の推移（2021年3月期上期-2025年3月期上期）



(2) 設備投資及び減価償却費

(単位：億円 四捨五入)

	2024年3月期 上期		2025年3月期 上期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	12	10	11	11
セラミック・マテリアル	7	8	6	8
エンジニアリング	1	1	6	1
食器	1	1	2	2
管理部門	5	3	14	3
合計	27	24	38	25

(3) 有利子負債

(単位：億円 四捨五入)

	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2024年9月	対前期比
有利子負債※	79	65	125	26	41	15
現金及び預金	123	142	146	213	165	△ 49
ネット有利子負債	△ 44	△ 77	△ 22	△ 187	△ 124	63

※ 有利子負債には、リース債務は含めておりません。

2. 2025年3月期の予想**(1) 重点施策****【工業機材】**

- ・事業をオーダーメイド品と汎用品に再編し、効率的な事業体制の構築を進めています。
- ・オーダーメイド品事業では、成長領域向け製品の増産体制を確立します。さらに、徹底した収支改善、販売拠点の整備などにより、収益基盤を強化します。また、半導体、自動車の電動化などの成長領域における新技術・新商品の開発を進めます。
- ・汎用品事業では、研磨布紙において、第1四半期に完全子会社化したタイ国製造子会社を活用して、製造・販売体制の再編を行い、収益力を改善・強化します。また、成長領域への進出に向けた製造・開発・営業体制を整備し、経営資源の最適化を図ります。

【セラミック・マテリアル】

- ・電子ペーストは、エレクトロニクス分野において、製品ラインナップの拡張と新商品の開発を進めます。
- ・電子部品材料は、積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力の増強を引き続き行うとともに、成長領域における新商品の開発を進めます。
- ・事業の選択と集中、新商品・新事業の創出により、事業ポートフォリオの再構築を進めます。

【エンジニアリング】

- ・エネルギー、エレクトロニクス分野では、拡販とアフターサービス体制の強化、新商品の投入によりシェアの拡大を図ります。自動車分野では、電動化に伴う新用途・新商品の開発を進めます。
- ・新しい分野（医療・医薬、半導体、新素材）への参入と市場の開拓、環境分野での新用途・新商品の開発を強化します。

【食器】

- ・国内は、流通販路の再整備による経費削減を進め、営業体制を見直してマーケティング力を強化するとともに、ホテル・レストラン向け、オンライン及び直営店の販売に注力します。
- ・海外は、成長市場であるインド、中国、東南アジアなど主要国への拡販と米国の収支改善に取り組みます。

【設備投資金額】

設備投資 120億円 減価償却費 50億円

(2) 業績予想

(単位：億円 四捨五入)

		2024年3月期	2025年3月期 業績予想			
		通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	557	284	286	570	13
	セラミック・マテリアル	466	237	233	470	4
	エンジニアリング	286	145	155	300	14
	食器	70	32	38	70	0
		1,379	698	712	1,410	31
営業利益	工業機材	24.8	10	10	20	△ 5
	セラミック・マテリアル	61.8	37	33	70	8
	エンジニアリング	21.9	10	10	20	△ 2
	食器	△ 1.5	△ 2	2	0	2
		107.1	54	56	110	3
経常利益		146.4	72	73	145	△ 1
親会社株主に帰属する当期純利益		114.8	60	60	120	5

(下期想定為替レート US\$=140円)